

黒木西

黒木西小
学校だより
文責:校長 松尾英二

令和7年1月22日(水)

NO.19



令和七年のスタート



いつも見慣れている城山も、
1月6日は雲がかかって墨絵
のようでした。



卒業生がかいてく
れた私の似顔絵
パート2です。



今年もよろしくお願ひします

令和七年がスタートしました。昨年は能登地方の大地震、羽田空港の事故、北九州市の火事など悲しい出来事からのスタートでしたので、今年は明るく安心して過ごせる一年になればいいなと願っています。今年もよろしくお願ひします。

さて、一月八日、子どもたちが登校してきました。静かだった学校は、久しぶりに賑やかになりました。

全校朝会では、脳の話をしています。我々の脳の中心に「海馬」というところがあります。この海馬は、見たことや聞いたこと等の情報をすぐに記憶しますが、しばらくしたらその情報は消えてしまうそうです。海馬は、夜眠っている間にその日の記憶を整理して、大事な情報だけを「大脳皮質」に送ります。その後、中を空にして新しい情報を入れる準備をします。大事な情報を長い間記憶しておくための仕組みだそうです。

新しいことや大事なことを覚えるためには、しっかりと眠る必要があるという話です。

三月末までは、今の学年の仕上げをする時期です。特に六年生は黒木西小学校の文化を下級生に残してほしいと思っています。そして五年生を中心に、しっかりと受け継いでほしいと願います。

主な学校行事予定

○六年生を送る会（三月五日）

○卒業証書授与式（三月十八日）

○一～五年生 修了式（三月二十四日）

なわとび記録会にむけて

一月三十日の朝の活動で、縄跳び記録会を計画しています。その時間は、各学年、長縄で三分間跳んだ数を記録します。持久跳びや技能跳びについては体育科の学習や休み時間の取組を記録します。

そのために、一月二十一日の朝の活動は、運動場で各学年に分かれて長縄の練習をしました。縄の中に入るタイミングを教え合ったり、回す人の間隔を狭くしたり、回すスピードを速くしたり工夫していました。最後に、三分間で跳べた回数を報告し合って、成果や課題を見つけていました。新記録が出た学年は、声を上げて喜んでいました。

本番までに、どこまで記録が伸びるか楽しみです。



「キャッチボールキャラバン」

一月二十日の五時間目、三年生はソフトバンクホークス職員の方々と運動場でベースボール型のゲームをして体を動かし、楽しむことができました。

この取組は、ホークスジュニアアカデミー主催の「投げる」「捕る」「打つ」「走る」といった野球の楽しさを体験できる「キャッチボールキャラバン」という学校訪問型の野球教室です。元選手だった若林さん、矢野さんをはじめ五名の方に来ていただきました。その中に、一昨年までホークスの投手だった嘉弥真さんがいらっしゃったのでびっくりです。

基本的な動作の仕方を教えていただき、最後は野球をアレンジしたゲームをしました。そのゲームというのは、ホームベース上の静止しているボールを打ち、飛んだボールを守備のチームの子どもが捕って、ホームベース方向に投げて、キャッチャーが捕ったときに、バッターがどこのベースを回ったかで得点が入るゲームです。キャッチャーがボールを捕ったときに、バッターが二塁を回っていたら二点が入るというルールです。

日頃はバットやグローブを使うことがない子どもも、得意な子どもたちと同じようにできて楽しむことができました。

